

農場通信 2024年 2月号

2024/1/25

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

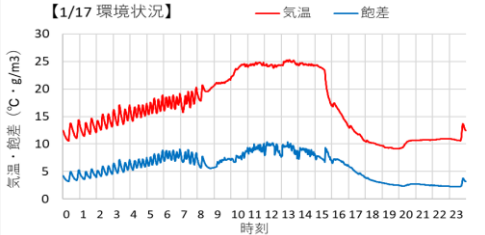
① 圃場 ハウス ② 試験内容

③ 開始日 ④ 終了予定

① 第4 A ② ココバッグ展示
天敵によるコナジラミ防除試験

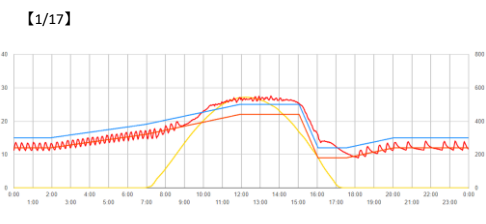
③ 2023/8/30 ④ 2024/8/10

品目	圃場写真①	圃場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

大玉トマト		
【1/17 環境状況】 		8/30に定植しました。品種：桃太郎ホープ 今年は、ココバッグ通常タイプ、試作の「ミニ」、 ロックウールで比較試験をしています。また、列中 央に「クレオメ」を定植し、コナジラミの天敵である タバコカスミカメを放飼して、防除を行っています。 現状は、カスミカメとコナジラミのバランスが取れ ているのか、殺虫剤はほとんど使っていないがコ ナジラミの増殖は見られません。草勢は日射量が 徐々に強くなる時期のためかなり強めで推移して います。

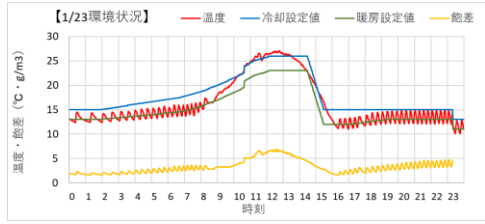
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験

③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

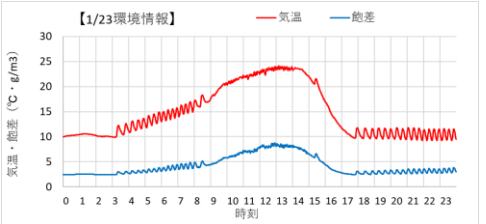
ミニトマト		
【1/17】 		現在、開花段数は20～22段。 曇天の影響もあり、花数が少なくなりました。 葉かきが遅れないように注意し、採光性を良 くするように管理を行っていきます。 給液量は約1000cc/株、EC2.0前後、排液率 20%になるように管理しています。

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験

③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

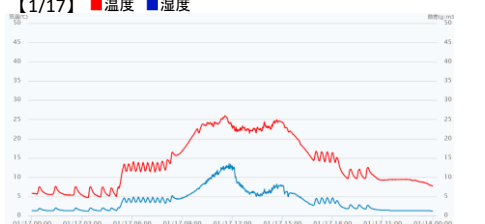
大玉トマト		
【1/23環境状況】 		現在、開花段数15～17段。 葉色と草勢が回復しました。 ハウス内、コナジラミが増加傾向なので 防除を行っています。 株あたり約1100cc、EC2.0前後で管理してい ます。

① 第4 D ② バラエティートマト品種比較試験③ 2023/8/27 ④

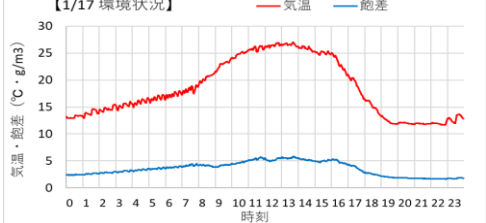
バラエティートマト		
【1/23環境情報】 		着果負担により、果実サイズが小さくなっ ていましたが、果実サイズが回復してきま した。 株あたり晴天時約1000cc、EC2.0前後で管理 しています。

① 第4 E ② イチゴ栽培試験

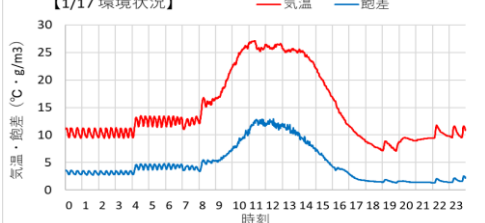
③ 2023/9/7 ④
2023/9/20

イチゴ		
【1/17】 ■温度 ■湿度 		クラウン温度制御試験の効果検証のため夜 間暖房温度を5℃に設定しています。 試験区ごとに早生性や生育の様子に違いが 見られるため調査結果を今後発信してい きます。 給液は1回50cc×4回、ECは0.8前後です。

① 第4 J ② ココバッグによる多収技術開発
栽植密度・葉面積管理試験 ③ 2023/10/6 ④ 2024/6月予
定

キュウリ		
【1/17 環境状況】 		10/6に定植しました。ココバッグは2年目になりま す。品種は埼玉原種の「S-40」を栽培し、栽植密 度と葉面積の最適値を検証します。 1月現在までで試験区ごとの大きな収量差は出 ていませんが、引き続き調査を継続します。「真呼 吸」による炭酸ガスの積極施用による効果か、冬 季の低日照時期でも順調に着果し、収量は昨年 よりもかなり多い状況です。CO2濃度は約1000pp mで管理しています。

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月

高糖度ミニトマト		
【1/17 環境状況】 		8/18に定植を行いました。 高糖度トマト専用の肥料処方を使い、給液EC2.0か らスタート。10月末まで給液EC6.0まで上げ、排液 ECは20.0以上(計測不能)になりました。 玉サイズは年末に比べるとやや大きくなり、収量が 出ている状況。糖度は品種差はあるものの、概ね10 度付近、高い品種は11度を超えています。2月に向 けては給液量を徐々に増やし排液を少しずつ出す 管理にしています。



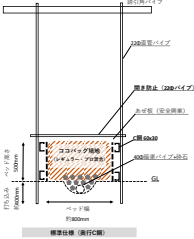
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第1 Q ② コマツナ品種比較試験 ③ 2023/7/20 ④ 2023/10月

コマツナ		
11月27日播種	12品種栽培中で 1月24日に収穫調査を行いました。 寒さにより生育に遅れが出ました。	

① 第3 M ② アスパラガス栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス		
	アスパラの「柵板式栽培」の実証試験。 柵板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。空きハウスで無加温作物の一つとして提案できれば面白い。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類試験します。 今作は株を育てて、収穫は来年春からです。年末でようやく株の黄化が本格化しました。地上部が完全に枯れたら、地下部への養分転流が完了した合図なので、株を刈り取って、春の萌芽を待ちます。	

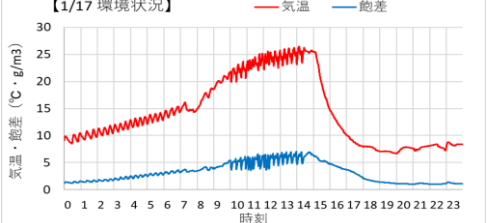
① 第6 露地 ② キャベツ品種比較 ③ 2023/8/23 ④

キャベツ		
冬系キャベツ ①年内作 8/23定植【終了】 ②年またぎ作 9/5定植 ③年明け作 9/20定植 ④3～4月作 9/27定植 春系キャベツ 年明け作 9/27定植	1作目は終了しました。 2作目の収穫調査は行ったため、今後は在圃性調査を行います。 3作目は乾燥などの影響で若干小ぶりとなっています。2月上旬に調査を予定しています。	

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2023/10月 ④

産直向け品目		
10月より産直向け品目栽培中	南棟では、ニンジンやビーツを 北棟では、ブロッコリーや芽キャベツなどを栽培しています 多くの品種で見頃を迎えています。	

① 第8 ② 大玉トマト高糖度栽培試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月下旬

高糖度トマト		
	品種は昨年同様 麗旬、台木はアーノルドになります。今作は「高糖度トマト安定生産技術開発」の3年目となります。今作は増枝による増収技術の確立を目指します。 1月現在で糖度がようやく目標の7度になりました。樹の状態はしっかり締まった高糖度の樹姿になっています。年内に早めに増枝した区は、増枝分の収穫開始を2月頃と想定しています。現状は着果も良好で順調です。	

① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較 ③ 2023/8/21 ④

ブロッコリー		
1作目: 7/25播種 8/21定植 2作目: 8/16播種 9/15定植 3作目: 8/29播種 9/26定植 4作目: 9/12播種 10/11定植 5作目(春作): 12/5播種 1/19定植	1作目 収穫ほぼ終了 2作目 収穫中 3作目 収穫中 4作目 出蕾中	



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp